

認定特定非営利活動法人
しみん基金・こうべ

2018(平成 30)年度事業報告書



2019(令和元)年 5 月

はじめに

2018年度は、前年度に引き続き新しい寄付プログラムを継続・定着させながら、ファンディング力の基盤強化につとめてきました。8月に神戸新聞事業社と連携して、「カンパイ KOBE」にブース出展するかたちで「ローリングストック in ひょうご」を開催しました。また、1月には、第3回チャリティ・パーティ「寄付がつなげるひと、育てるまち〜Tani matching」を開催しました。

また、5月から寄付つき商品の第3弾として㈱フルハウスと提携して耐震補強金具パワープレートの施工売上げに伴う寄付を受け始めることができました。

一方、2018年度助成事業では、今回も「次代の市民活動の担い手育成を重視する」と「地域との連携の観点を重視する」というテーマを掲げて実施しました。そして、10月に開催した公開審査会の結果、8団体（一般枠；6団体、特定枠；2団体）の各事業に合計2,450,000円（一般枠；2,000,000円、特定枠；450,000円）の助成金を交付しました。

また、第2回「黒田裕子賞」の受賞者として、黒田裕子さんの評伝「災害看護の本質」を6月に著わされた酒井明子さん（福井大学教授）に贈呈致しました。

2019年度は、阪神・淡路大震災25周年を迎えます。当基金も創立20周年を迎えますが、震災のことをふりかえりつつ、引き続き「チャリティタウンKOBE」と「おたがいさま基金」という2本柱を立てながら、事業メニューの充実化とつなげる力の強化を図っていきます。これまでも増して市民や企業市民等の支援者と社会的な課題解決に役割を果たしている市民活動団体を育みつつ繋げていく役割を担ってまいります。

皆様方からの更なるご支援、ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

認定特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ
理事長 戎 正晴

目次

はじめに	2
目次	3
1 助成事業	
ア) 平成 30 年度助成事業	4
イ) 平成 30 年度しみん基金・KOBÉ 特別賞	6
ウ) 平成 30 年度黒田裕子賞	6
エ) 平成 29 年度助成事業成果報告会	6
2 寄附・募金活動	
ア) 寄附金・募金受入	7
イ) イベント募金	8
① こうべ・あいウォーク 2019	
② 第 3 回チャリティ・パーティ「寄付がつなげるひと、育てるまち-Tanimatching」	
ウ) 協働企画型寄付システム	9
① 古着チャリティ事業	
② 寄附つき商品 (有馬ソルトクッキー、ラストイン商品、耐震補強パワープレート)	
③ Yahoo ネット募金	
④ 古本キフ	
⑤ カイトリ	
⑥ モノキフ	
エ) 広報・情報発信	10
3 中間支援事業	
ア) 「つなごう神戸」運営事業	11
イ) ハンズオン型 NPO マネジメント支援講座事業	12
ウ) NPO 支援活動	13
エ) はあ〜とふるふあんど支援事業	14
オ) 第 3 回チャリティ×啓発イベント「ローリングストック in ひょうご」	14
カ) その他の事業	15
4 運営管理	
ア) 会議	15
イ) 管理	15

1 助成事業

ア) 平成 30 年度助成事業

①助成の趣旨

しみん基金・こうべの助成事業は、地域を愛する多くの市民・企業等が自発的に寄附という形で資金を提供し合う形で基金を形成し、それらを市民社会組織に対して開かれた自律的なルールで助成することで、阪神・淡路大震災で体感した支え合い・助け合いの大切さを、公共を行政だけに頼ることなく自律かつ自立した市民一人ひとりによる共助・互助をベースとした草の根市民活動を促進し、真の市民社会にふさわしい魅力と活力のある地域の創造に寄与することを目的としています。

②応募対象者

1. 神戸市及びその周辺地域に活動拠点または事務所を有する非営利団体（法人格の有無は問いません）
2. 自主性を確保し、自律的に運営されている団体
3. 団体として継続性を有し、支給された助成金の管理及び事業を遂行する能力・体制を備えた団体

③助成金額

平成 30 年度助成事業は、助成総額 250 万円を予定しました。

助成の区分	一般枠	特定枠
助成対象分野	活動分野に限定はなし。	東日本大震災や熊本地震など大規模自然災害で被災した人々を支援するボランティア活動に限定。
助成限度額等	1 事業について事業費総額の 4 分の 3 以内かつ、 金 50 万円 を上限とする。	1 事業について事業費総額の 4 分の 3 以内かつ、 金 25 万円 を上限とする。
	助成総額は 200 万円までを予定。	助成総額は 50 万円までを予定。
審査選考方法	書類審査を経て、団体訪問によるヒアリング調査を行い、公開審査会によるプレゼンテーションにて選定。	

④ 助成事業の内容

- 1) 平成 30 年度基本方針：A. 次代の市民活動の担い手育成を重視する。
B. 地域との連携の観点を重視する。
上記 A B の一方、もしくは両方をふまえた申請内容とすることとした。
- 2) 助成対象期間：2018 年 10 月 1 日～2019 年 9 月 30 日までの 1 年間における事業を対象。
- 3) 選考優先事項：助成先選考にあたっては、上記の基本方針を踏まえ、かつ市民社会の確立・存続にふさわしい草の根性、開拓性・先駆性、団体としての継続性のあるものを、優先した。
- 4) 助成対象経費：給料・手当（人件費）、福利厚生費、会議費、旅費交通費、通信運搬費、物品購入費、消耗什器備品費、消耗品費（事務用品費）、修繕工事費、印刷製本費、燃料費、光熱水費、地代家賃（賃借料）、保険料、諸謝金（謝礼金）※交際費は対象外。
- 5) 申請受付期間；2018 年 7 月 17 日（火）～2018 年 8 月 31 日（金）
個別相談団体数：延べ 5 件

申請受付団体数：22 団体（一般枠；20 団体、特定枠；2 団体）

⑤ 書類選考 以下の通り、書類選考（1次審査）を実施した。

開催日時：2018年9月18日(火) 13:30～15:30

場所：しみん基金・こうべ事務所

形式：理事会にて審議

選考結果：13 団体（一般枠；11 団体、特定枠；2 団体）なお、特定枠については両方合わせても助成予定総額に満たないので、2 件ともヒアリングの上、特に問題なければ、公開審査会でのプレゼンテーションは行わず助成先団体と決定した。）

⑥ ヒアリング調査 書類選考された13 団体の活動拠点を理事等で手分けして訪問し、以下の通りヒアリング調査を実施した。

期間：2018年10月1日(月)～2018年10月7日(日)

形式：当基金理事による訪問、ヒアリング調査報告書の作成

⑦ 公開審査会 書類選考された一般枠11 団体のプレゼンテーションによる公開審査会を、以下の通り開催した。

開催日時：2018年10月23日(火) 13:00～17:00

会場：神戸市青少年会館レクリエーションホール

出席審査員（順不同・敬称略）：

津久井 進（審査員長）、菊本 郁、森崎 清登、山田 剛司、脇田 顕辞、辻 幸志、河口 紅、本荘 雄一、藤本 真里

⑧ 助成先決定団体・事業

公開審査会での選考結果を受けて、下表の8 団体（一般枠；6 団体、特定枠；2 団体）の各事業に合計2,450,000 円（一般枠；2,000,000 円、特定枠；450,000 円）の助成金を交付することを、同日に開催された当基金理事会にて決定した。

区分	番号	団体名	事業名
一般枠	1	(特活) なごみ	地域情報掲示板アプリ「ためまっぷ」普及・検証プロジェクト事業
	2	(特活) 支援の会ひまわり	透析患者 送迎見守り事業
	3	音楽療法士グループ りんでんぼうむ	はーとふる ミュージックセラピー コンサート
	4	(特活) 友之会	野菜の生産・販売を通して、生きがい就労支援事業
	5	(特活) ホザナ・ハウス	少女の居場所づくり
	6	(特活) そらしど	医療的ケア児家族支援研究の報告会講演会開催と支援しつなげる交流会開催
特定枠	T1	神戸・心絆	阪神淡路大震災・東日本大震災追悼竹灯籠
	T2	ガリレオクラブインターナショナル	僻地の被災地へのボランティア派遣プロジェクト・広島

⑨ 覚書締結・助成金交付

上記各団体としみん基金・こうべ事務所にて、11月7日(水)に助成金交付に関する覚書を締結した。また、11月22日(木)に、各団体に対して助成金を交付した。

⑩助成先団体活動レポート

助成先団体が助成金を使用してどのような成果を生み出しているのかを、広く寄附者や市民に知ってもらうため、助成先団体を訪問して、その活動の様子をレポートとしてまとめて、当基金

ホームページで下記のとおり掲載した。

- ・ 6/11 : (特活) リーフグリーン
- ・ 7/18 : 福島の子どもたちを招きたい! 明石プロジェクト
- ・ 8/28 : (特活) Birth 神戸
- ・ 9/7 : 神戸・子どもと教育ネットワーク
- ・ 12/18 : 神戸・心絆
- ・ 3/18 : (特活) そらしど
- ・ 3/27 : (特活) 支援の会ひまわり

イ) 平成 30 年度しみん基金・KOBE 特別賞

この賞は、当基金と縁の深い方々のご遺志に基づき、当基金設立以来のミッションである草の根支援の見地から、意義のある活動を活発に展開され功績のあった団体に対し授与されるものです。

公開審査会同日に開催された理事会の審議により、今年度は該当者なしと決定しました。

ウ) 平成 30 年度・第 2 回黒田裕子賞

この賞は、当基金の初代理事長であった故・黒田裕子さんの意思を引き継ぎ、その実績や功績に見合った活動を行っている団体又は個人を年 1 回表彰するもので、昨年度より創設されました。

9 月理事会での審議の結果、第 2 回の受賞者は酒井明子さん(福井大学・教授)に送ることに決定しました。

エ) 平成 29 年度助成先事業成果報告会

平成 29 年度助成事業(助成対象期間:平成 29 年 10 月 1 日~平成 30 年 9 月 30 日)について、平成 30 年 10 月末日までに事業報告書を提出頂きました。また、事業成果報告会を下記の通り実施しました。

- ・ 開催日時:平成 30 年 12 月 5 日(水) 13:30~16:00
- ・ 開催場所:神戸市青少年会館レクリエーションホール
- ・ 発表団体:(特活) Birth 神戸、(特活) リーフグリーン、こうべ子どもにこここ会
ひょうごラテンコミュニティ、神戸・子どもと教育ネットワーク
福島の子どもを招きたい! 明石プロジェクト、
神戸大学持続的災害支援プロジェクト Konti

2 寄附・募金活動

ア) 寄附金・募金受入

以下のみなさんより寄附金を頂きました。(敬称略・順不同)

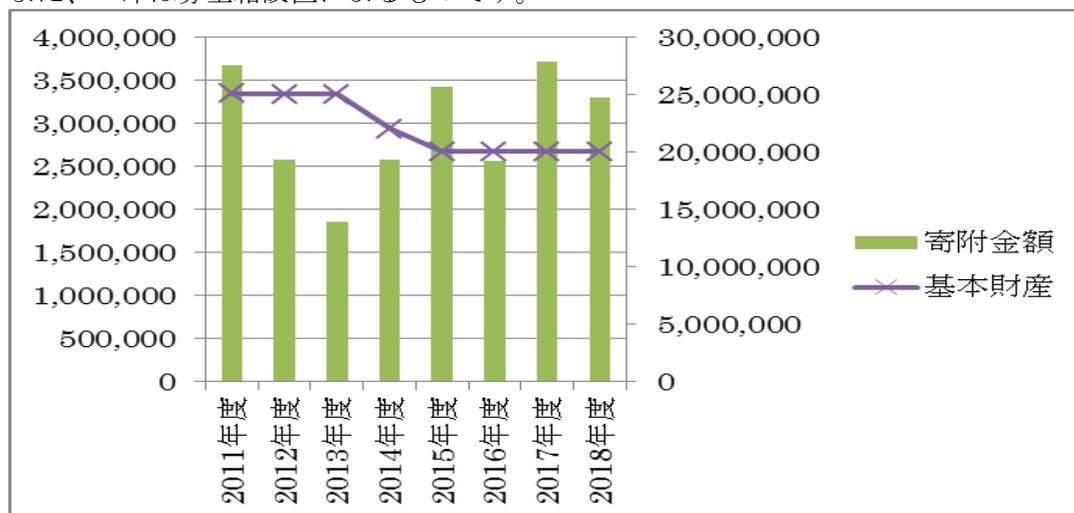
相川 康子	芦屋西宮市民法律事務所	瀧 和男
高橋 俊行	雨森 孝悦	脇田 慎司
(有)ボック※	瀬戸口 延恵	(一社)ウルノス
(一財)敬愛まちづくり財団	井上 由紀子	山田 剛司
脇田 顕辞	菅本 郁	中村 保佑☆
山口 聡子	酒井 明子	伴 智代☆
(株)夢舞台※	石田 祐	重松 和枝☆
(株)ロック・フィールド☆	津久井 進☆	上松 節子☆
関西日英協会婦人部☆	戎 正晴☆	勝部 慶子☆
崔 舜記☆	オルガ ワンゲリエワ☆	植田 雅人☆
中村 順子☆	白井 一彦☆	池田 拓也☆
久戸瀬 昭彦☆	戎 康宏☆	
(株)モイスティアヌ美容研究所☆	(有)神輝興産☆	
上野 義治☆	(一財)大吉財団☆	藤井 英映☆
鬼本 英太郎☆	當間 克雄☆	(株)まんぼう☆
保元 温☆	大和リース(株)神戸支店☆	(株)神戸サンソ☆
神戸シティ法律事務所☆	ウィルスタイル(株)☆	松元 隆平☆
(株)フルハウス※	(株)フルハウス技研※	
こうべあいウォーク 2019 実行委員会		兵遊協福祉基金
村井 雅清	中島 秀男	飛田 雄一
ブックオフコーポレーション(株)		ヤフー(株)
あじさい基金		
オレンジスリフティ ((有) 神戸国際マーケット) へ古着を提供して頂いた皆様		
ブックオフへ古本を提供していただいた皆様		
愛蓮塚口店募金箱*	しみん基金 KOBE 事務所設置募金箱等*	
他匿名募金 2名		

総額 ￥3,362,195

皆様方のあたたかいお志に心より感謝申し上げます。

なお、☆印は第3回チャリティ・パーティ「寄付がつなげるひと、育てるまち Tani matching」への寄付金として ※印は寄付つき商品によって寄付を頂きました。

また、*印は募金箱設置によるものです。



イ) イベント募金

① こうべ・あいウォーク 2019 (協働事業)

市民活動を精神的にも資金的にも支援するという理念を次の世代に受け渡すイベントとして開催しました。スタート地点での募金(一口千円)は、当日の経費を差し引いて当基金へご寄付頂きました。

- 主催：こうべ・あいウォーク 2019 実行委員会 ((特活) 神戸まちづくり研究所、(認定特活) まちコミュニケーション、(認定特活) しみん基金・こうべ)
- 協力：近畿労働金庫地域共生推進室
- 日時：2019年1月13日(日) 9:30~13:00
- 場所：長田区(大国公園~鉄人 28号モニュメント前、水笠通公園、大正筋商店街、丸五市場~旧二葉小学校)
- 実績：参加者/約150人、寄附金額/¥164,373

② 第3回チャリティ・パーティ「寄付がつなげるひと、育てるまち~Tani matching」(協働事業)

住み慣れた地域(まち)で最期まで暮らし続けたいという願いを、小さくても地域(まち)にとってかけがえのない市民活動団体に「寄付」という形で応援する、地域に根差したちょっとおしゃれなチャリティ・パーティを開催しました。

今回も、地元企業である神戸酒心館から会場と新酒を、株式会社萩原珈琲からはコーヒーをご提供頂き、企業の従業員が参加しやすいように平日の夜に開催しました。

また、「市民活動団体」は、7月に公募して、8月に5団体を共催団体とともに選考しました。

- 開催日時：2019年1月22日(火) 17:30~20:00
- 開催場所：神戸酒心館ホール
- プログラム内容：
 - ・オープニングセレモニー
 - ・「市民活動団体」プレゼンテーションタイム
神戸・灘おもちゃの病院、NPO法人二求の塾、ほっとスペースおうご
特例認定NPO法人まなびと、森のようちえんそとはうち
 - ・支援者と「市民活動団体」の交流タイム
 - ・マッチングタイム/結果発表
 - ・エンディングセレモニー
- 主・共催：認定NPO法人しみん基金・KOBE、
認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸
認定NPO法人はんしん高齢者くらしの相談室
- 後援：兵庫県、神戸市、一般社団法人神戸青年会議所、(社福)神戸市社会福祉協議会
- 助成：ひょうごボランティアプラザ
- 成果：
 - ・参加者：40名(個人：21人、22口、企業・団体：10社、19口)
 - ・寄附金：¥600,000
 - ・市民活動団体：5団体、11名 ・オブザーバー：1名、 ・スタッフ：21名
 - ・助成金額：¥450,000
 - ・参加者の満足度は高く、すべての団体とテーブルで話すことができたこと、進行がスムーズで雰囲気良かったこと、お料理やお飲み物が美味しかったという評価を頂けた。また市民活動団体からも、市民の前で自分たちの活動について話す機会を得られて心から感謝します、という意見を頂けた。
- その他：
 - ・実行委員会の開催・・・5/1、6/13、8/7、10/30、12/26、2/27

ウ) 職域募金

① あじさい基金

神戸市職員有志による給与天引きによる募金システム。平成 16 年に開始された。

■寄附金額：¥300,000 (2015 年以降 3 年間分)

エ) 協働企画寄付システム

① 古着チャリティ事業

この事業は、環境負荷を抑えるために使用しなくなった衣類等の提供を通じて、市民の社会貢献意識の定着と市民によるボランティア活動を支えるファンドレイジングを目的としています。

引き続き (有) 長崎屋ホワイト急便神戸と提携して、クリーニング回収チェーン店 3 店舗に「古着寄附 BOX」を設置して、古着チャリティ事業の認知度を高め、古着寄付の増加に努めた。また、毎月住所のわかる寄付者にはお礼状を送付した。

5 月にはアースデイ神戸にブース出展して、古着寄付を呼びかけた。

■提携先：(有) 神戸国際マーケット 寄附金額：¥213,138

② 寄附つき商品

1) 有馬ソルトクッキー

引き続き、神戸洋菓子「ボックサン」のご協力により、寄附つきクッキー「有馬ソルトクッキー」(10 枚入り、1080 円・税込) をボックサンの各直営店等にて販売して、その年間売上高の 3% が当基金へ寄付されました。

■提携先：(有) ボック 寄附金額：¥139,274

2) ウェスティンホテル淡路オリジナルマスコット「ラストイン」商品

引き続き、ウェスティンホテル淡路のご協力により、同ホテルのオリジナルマスコットである「ラストイン」商品 (ぬいぐるみ等) 9 品をウェスティンホテル淡路内のショップにて販売して、その年間売上高の 3% が当基金へ寄付されました。

■提携先：(株) 夢舞台 寄附金額：¥67,781

3) 耐震補強金具パワープレート

今年度 5 月分より、(株)フルハウスのご協力により、古い木造建築物の耐震補強工事で使用する耐震補強金具パワープレートを、直施行した現場施工分の年間売上高の 5% が当基金へ寄付されました。

■提携先：(株) フルハウス 寄附総額：¥568,732

③ Yahoo ネット募金

引き続き「Yahoo! ネット募金」にて、余った T ポイントや期限切れ間近の T ポイントを寄付できる仕組みに登録しています。

■提携先：ヤフー(株) 寄附金額：¥20,292

④ 古本キフ

引き続き、ブックオフコーポレーション (株) と連携して、同社の「ボランティア宅本便」という仕組みを通じて、当基金へ古本や DVD 等で寄付ができます。

■提携先：ブックオフコーポレーション (株)、寄附金額：¥5,355

⑤ カイトリ

家にある価値はあるけど使わないモノを当基金へ寄附できる買取寄付プログラム「カイトリ」に登録しています。

■提携先：(株) シン・ファンドレイジングパートナーズ、寄附金額：¥0

⑥ モノキフ

家で眠ったままになっている大切な思い出の品を、ヤフオクにて販売し、提供者の指定の割合をきふできる仕組みに登録しています。

■提携先：(一社) ウルノス 寄附金額：¥6,805

⑦その他

- 1) ろうきん NPO 寄付システム 提携先：近畿労働金庫、 寄附金額：¥12,000
- 2) 募金箱・自販機募金 協力設置場所：3ヶ所 募金金額：¥50,914
- 3) 印税寄附 「災害看護の本質」による印税寄付 寄附金額：¥7,758
- 4) Gochiso レストランで食事をすると寄付できるしくみ 寄附金額：¥0

オ) 広報・情報発信

- ① ニュースレター発行：3回
第45号：2018年7月、第46号：2018年12月、第47号：2019年3月
- ② ホームページ；最新記事を41本掲載。 FB：最新記事を本掲載
- ③ メルマガ発行：6回(4/24、7/17、8/28、10/1、11/13、1/8)
- ④ ホームページ・リニューアル
- ⑤ 検索サイト Google 広告による広告掲示回数(2019年度) 26,000回
クリック数1,060回、クリック率4.08%

3 中間支援事業

ア) 「つなごう神戸」運営事業

市民活動応援サイト「つなごう神戸」は、ボランティアしたい人と NPO や市民活動団体をつなぐとともに、社会貢献をめざす企業が協働先を探すお手伝いをする、神戸市との協働で運営するマッチングサイトです。

今年度は、運営協議会の構成を NPO・地域・企業・大学・行政・社協からご参加いただく形に刷新しました。また、トップページに「ボランティアの声」欄を新設し、つなごう神戸を通じてボランティアを体験した方の体験談を掲載するようにしました。

1) 運営協議会

①委員の構成：

認定 NPO 法人しみん基金・KOBE、竹の台地域委員会、株式会社フェリシモ、株式会社キットシステム、大学コンソーシアムひょうご、神戸市市民参画推進局、社会福祉法人神戸市社会福祉協議会、

②協議会の実施：第 1 回：6/6、第 2 回：10/31、第 3 回：3/28

2) 実施内容

①サイト管理

問い合わせ日常業務対応
メルマガ発信 25 号～49 号・SNS 活用
行政からの情報転載
メール不通団体への連絡・処理
県民ひろばから内閣府 NPO ポータルサイトへの移行

②ボランティア体験談ページ新設

NPO 法人ふおーらいふ、元町映画館、コウベまちむすびの 3 団体のボランティア体験談を掲載

③プロボノ受け入れによるグーグルアナリティクス の活用

ユーザー属性、集客チャンネル、検索キーワード、離脱時アクションの分析

④地縁・地域団体への登録呼びかけ

⑤協賛金獲得営業活動

⑥行政と当基金による事業自己評価

3) 成果

①登録団体数：505 団体（前年度 11 団体増）、登録個人数：347 人（前年度 14 人増）



イ) ハンズオン型 NPO マネジメント支援講座事業

この事業は、神戸・兵庫地域の NPO 法人等を対象として、現状の経営分析を行い、課題を抽出して中期（事業）計画づくりを行うことを通じて、NPO 法人等の経営層のマネジメント能力の向上を図ることを目的とした基本コースと、前年度受講した団体向けに、PDCA サイクル（Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善））をまわすことを定着させていくことを目的としたフォローアップコースで構成され、今年度は下記の通り実施しました。

また、この事業はひょうごボランティア基金・地域づくり活動助成を受けて実施しました。

[実施概要]

A. 基本コース

(1) 座学講座：5 回開催（3 時間／回）／プレゼン＋レクチャー＋ワーク

- ① 2018 年 10 月 18 日（木）第 1 回座学講座「NPO マネジメント論～ミッション・ビジョンと目標の重要性」
- ② 2018 年 11 月 15 日（木）第 2 回座学講座「ステークホルダー分析手法を学ぶ」
- ③ 2018 年 12 月 13 日（木）第 3 回座学講座「SWOT 分析手法を学ぶ」
- ④ 2019 年 1 月 24 日（木）第 4 回座学講座「BSC による中期（事業）計画づくりを学ぶ」
- ⑤ 2019 年 2 月 26 日（火）第 5 回座学講座「中期（事業）計画案」の発表

(2) 個別訪問：4 回（2 時間程度／回）×3 団体へ訪問／個別に課題作成を支援する

- ① 座学①-②間で訪問し、「ビジョン検討シート」作成を個別支援
- ② 座学②-③間で訪問し、「ステークホルダー分析シート」作成を個別支援
- ③ 座学③-④間で訪問し、「SWOT 分析シート」作成を個別支援
- ④ 座学④-⑤間で訪問し、「中期（事業）計画案」作成を個別支援

(3) 受講団体

- ① 認定 NPO 法人ウィメンズネット・こうべ（神戸市長田区）
- ② NPO 法人 多言語センター FACIL（神戸市長田区）
- ③ NPO 法人こども育ちわたし育ちマドリナー（神戸市東灘区）

B. フォローアップコース：年 3 回（2 時間程度／回）×3 団体へ訪問／個別の課題に対するアドバイス

・受講団体

- ① 神戸いたやどばあちゃん（神戸市長田区）
- ② 神戸フリースクール（神戸市中央区）
- ③ 認定 NPO 法人はんしん高齢者くらしの相談室（神戸市東灘区）

C. 調査・研究

- ① 国内外における NPO マネジメントの事例研究会（8 月）
- ② これまでの受講団体のその後のこの事業による変化訪問調査（11～12 月、6 団体）
- ③ ②の調査によるこの事業の効果分析研究会（3 月）

D. 企画会議（2 回） 8/15 3/6

[実施体制]

- ・スーパーバイザー兼講師：當間克雄氏（兵庫県立大学経営学部・教授）
- ・講師兼アドバイザー：河合将生氏（Office Musubime・代表、准認定ファンドレイザー）
- ・アドバイザー兼事務局：江口聡（当基金事務局長、認定ファンドレイザー）
- ・事務局：戸田香苗（当基金スタッフ）

ウ) NPO 支援活動

- ① 神戸市アドバイザー派遣事業 主催：NPO 法人神戸まちづくり研究所
(神戸市からの委託事業)
- ・ NPO 法人いろえんぴつへのアドバイス：3 回 (8/20、10/3、2/13)
 - ・ 白川台ふれあいのまちづくり協議会への会計支援アドバイス：3 回 (7/3、7/21、10/30)
 - ・ NPO 運営ステップアップ講座：3 回 (6/17、12/9、3/21)
 - ・ ケース検討会等 MTG：5 回 (5/16、7/20、9/21、12/3、3/4)
- ② 神戸市・中間支援 NPO と行政の意見交換会：1 回 (6/25)
- ③ 居場所サミット 主催：認定 NPO 法人コミュニティ・サポートセンター神戸
- ・ 開催日：2018 年 8 月 19 日 (日) 場所：神戸市勤労会館
 - ・ 実行委員会：6 回 (4/25、5/17、7/25、8/10、9/21)
 - ・ 地域の居場所「利用者実態調査報告会」：2/8
- ④ CS ネットワークフォーラム in 神戸 主催：(特活) 関西 NGO 協議会
- ・ テーマ：企業と NPO/NGO：これからの協働のかたち
 - ① ~SDGs 時代の社会的課題をコレクティブな協働で解決に導く
 - ・ 開催日：2018 年 10 月 4 日 (木) 場所：協働と参画のプラットフォーム
 - ・ 内容：ア) 基調講演「SDGs 時代の社会的課題をコレクティブな協働で解決に導く」
 1. 広石拓司氏 (株式会社エンパブリック 代表取締役)
- 事例発表
- ・ 生活協同組合コープこうべ
 - ・ 神戸松蔭 TFT
 - ・ コミュニティ・サポートセンター神戸
- 交流タイム
- ・ 共催：(特活) しゃらく、(認定特活) しみん基金・KOBE
 - ・ CS ネットワークフォーラム in 大阪：3/15
- ⑤ 兵庫県共同募金会・配分委員会
- ・ 開催日：6/26、7/24、12/6、3/4
 - ・ NPO 支援事業プレゼンテーション審査会
開催日：2018 年 8 月 27 日 (月) 場所：兵庫県福祉センター
- ⑥ 日本ファンディング協会関西チャプター・事務受託
- ⑦ ひょうご中間支援ネットワーク全体会・1 回 (3/26)
- ⑧ 講演・その他
- (ア) 2018 年 9 月 11 日 (月) ASAHI・MITSUHASHI 基金選考委員会@ひょうごコミュニティ財団
選考委員 江口事務局長 主催：公益財団法人ひょうごコミュニティ財団
- (イ) 2018 年 10 月 6 日 (土) 環境市民活動助成金セミナー @大阪産業創造館
新しい資金調達の流れ・「休眠預金ってなに？」 講師：江口事務局長
主催：NPO 法人エコネット近畿
- (ウ) 2018 年 11 月 20 日 (火) 大阪府 NPO 法人ステップアップセミナー@ドーンセンター
資金調達のために共感メッセージ力を身につけよう！ 講師：江口事務局長
主催：大阪府府民文化部男女参画・府民協働課
- (エ) 2018 年 12 月 4 日 (火) 大阪市ボラティア活動振興基金運営委員会作業部会
大阪市ボラティア活動振興基金 2020 年度改編に向けて 委員：江口事務局長
主催：大阪市社会福祉協議会
- (オ) 2019 年 3 月 7 日 (木) 東大阪市 NPO 支援セミナー @東大阪役所
資金調達について考えよう 講師：江口事務局長
主催：東大阪市協働のまちづくり部 NPO・市民活動支援課

エ) はあ〜とふるふぁんど支援（ボランティアあしすと部門）事業（受託事業）

21 世紀は、コミュニティを支える人々の心や地域社会に根ざした文化とともにあらゆる人々の交流が重要になってきます。「兵遊協・ハート玉福祉支援事業/はあ〜とふるふぁんど」は、兵庫県遊技業協同組合加盟の遊技ホールのお客さまの協力を得て、遊技時に出たこぼれ玉や景品交換後の余り玉、それにホールからの寄付金を加えて、基金として積み立てていきます。その基金を、県内の福祉事業及び地域振興事業の支援金として毎年寄付し、地域への貢献、文化の育成を図る事業です。（はあ〜とふるふぁんど申請書より抜粋）

当基金は、この支援事業のうち「ボランティアあしすと」部門の事務局業務を平成 14 年度より毎年受託しています。

- ・主催：はあ〜とふるふぁんど実行委員会（神戸新聞グループ、兵庫県遊技業協同組合）
- ・支援対象 兵庫県内で地域ボランティア活動を行っている 5 名以上で構成される団体。
- ・支援金額 全体の活動費の 4 分の 3 相当で、最高 100 万円。

① 平成 30 年度事業

- ・ 4/4 予備審査会
- ・ 5/7 最終審査会
- ・ 6/8 贈呈式

② 平成 31 年度事業

- ・ 申請受付期間 2019 年 1 月 4 日（金）～3 月 8 日（金）
- ・ 申請受付団体数 66 団体（うち 18 団体に支援金交付予定）

オ) 第 3 回チャリティ×防災啓発イベント「ローリングストック in ひょうご」

（協働事業）

神戸新聞事業社と提携して、市民・企業・NPO の 3 者が参加するテーマ設定型啓発イベントとして、今年度も「みなとこうべ海上花火大会」に合わせて開催されている「カンパイ KOBE」にブース出展しました。

家庭で廃棄される食品のうち手つかずのままのものは 22%に及ぶ。一方で平時から災害に備えるためには一定の食料を保存しておく必要がある。この企画では、「ローリングストック」に関するアンケートにお答え頂いた方にガチャガチャで決められた保存食と啓発チラシを配布することで、防災における「ローリングストック」の大切さについての理解を広げることを目的としました。

また、保管されたままになっている賞味期限内の「もったいない」食品をご寄付いただき、その代わりに、新しい保存食を提供することも行いました。

■開催日時：2018 年 8 月 4 日（土）14:00～22:00

■開催場所：みなとの森公園

■プログラム内容：

- ・ 保存食・非常食を、イベント参加者に持参してもらうよう呼びかける。
- ・ 保存食・非常食持参者には、新しい保存食を提供する。
- ・ 集めた保存食は、認定 NPO 法人フードバンク関西に寄贈した。
- ・ イベント参加者に、「ローリングストック」啓発パンフを配布する。
- ・ イベント参加者に、「ローリングストック」に関するアンケートに答えてもらう。
- ・ アンケート回答者にガチャガチャで決められた保存食を提供する。

■主催：ローリングストック in ひょうご実行委員会

（認定 NPO 法人しみん基金・KOBE、神戸新聞事業社）

■特別協賛：一般財団法人大吉財団、黒潮町

■協力：井上食品(株)、八千食品(株)、(株)フェリシモ、(株)サタケ、エム・シーシー食品(株)オリバーソース(株)、生活協同組合コープこうべ、(株)神防社、神戸市水上消防署
NPO 法人プラスアーツ、認定 NPO 法人フードバンク関西

■助成：県政 150 周年記念県民連携事業

カ) その他の事業

DTP 受託

(株)フルハウスより、パンフレット、事例集の DTP 制作を受注しました。

パンフレット	1000 部
事例集	500 部
チラシ	100 部

4 運営管理

ア) 会議

① 定時総会

開催日：2018 年 5 月 28 日 (月) 18:00~19:00

開催場所：しみん基金・こうべ事務所

出席会員数：22 名 (うち委任状提出 12 名)、正会員数：34 名

審議事項：(1) 平成 29 年度事業報告並びに決算報告

(2) 平成 30 年度事業計画案並びに予算計画案

(3) 役員選任について

(4) 定款変更について

(5) 基本財産取り崩しについて

② 理事会

1. 2018 年 5 月 9 日 (水) 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

審議事項：①平成 30 年度定時総会付議事項、

2. 2018 年 6 月 19 日 (火) 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

審議事項：①理事の役職互選について

3. 2018 年 9 月 18 日 (火) 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

審議事項：①平成 30 年度助成事業・書類選考、②第 2 回「黒田裕子賞」の選考

4. 2018 年 10 月 23 日 (木) 開催場所：神戸市青少年会館

審議事項：①公開審査会選考結果承認・助成先団体・金額決定、②しみん基金 KOBE 特別賞選考、

5. 2019 年 2 月 5 日 (火) 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

審議事項：①基本財産取り崩しについて

③ 監査 2018 年 5 月 1 日 (火) 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

監事：佐藤庸安、森田拓也

④ 四役運営会議 2018 年 4 月 23 日 (月) 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

議事内容：①平成 30 年度定時総会に付議する事項、②各事業の詳細について

⑤ 理事・審査員合同会議

2018 年 7 月 18 日 (水) 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

議事内容：①平成 30 年度助成事業について、②黒田賞について

イ) 管理等

①所轄庁への事業報告書提出・認定法人関係報告書提出 6/6

②会員向けに、年賀状・お誕生日カードの送付

③正会員異動・会費内訳一覧

	期首数	期末数	異動原因	決算額	決算内訳 (未収を含む)	未納者数
個人	30	31	関本さん入会	290,000	27 人×10,000+1 人×20,000	3 人
団体	2	3	フルハウス入会	60,000	2 団体×30,000	1 団体
合計				330,000		